

久留米広域連携中枢都市圏 令和元年度 ビジョン懇談会 全体会 議事録

(1) 日 時： 令和元年 11 月 21 日（木） 14:00～16:00

(2) 場 所： 久留米シティプラザ 大会議室

(3) 出席者： <ビジョン懇談会委員> 24 名

世利洋介委員、新井真実委員、黒沼清寿委員、諸岡佳紀委員、實藤俊彦委員、
上野秀幸委員、平田敬一郎委員、森山有希子委員、古賀亮史委員、緒方博子委員、
小田好一委員、鯉谷彰委員、緒方伸州委員、小坪洋明委員、高橋英二委員、
神代眞澄委員（代理：城野和幸委員）、前田浩之委員、吉岡マサヨ委員、前田久仁
子委員、船津將義委員、岡本卓也委員、高木亜希子委員、有馬彰博委員、飯野直
美委員

<ワーキンググループ職員等>18 名

<事務局>5 名

(4) 次第及び議事： [○…委員発言 ●…ワーキンググループ、事務局発言]

1. 開会

2. 議事

(1) 小分科会の開催報告について

〔小分科会の開催報告について説明〕

○小分科会で作された意見は極めて貴重で、後で説明を受ける事業結果、予算事項では中々出てこない各事業の背景、課題、問題点等がよく議事録に表されている。皆様のご意見によって、はじめて表に出てきたものが多いと感じている。これを最大限ビジョンにも反映していただきたい。

(2) 平成30年度事業実績及び成果指標について

〔平成30年度事業実績及び成果指標について説明〕

○成果指標評価の中で進捗度×が3件あるが、達成できなかった理由と今後の対応について説明をお願いします。

●「連携施策の成果指標達成率」

連携施策の成果指標達成率以外の全体の○の割合をカウントしているもので、△が10件、×が2件あることから達成率70%に至っておらず×としている。

●「見本市での商談件数」

見本市として平成29年度まで実施してきたが、農産物の6次化商品の商談としては中々新しい商品が出てこない。福岡都市圏から招聘するバイヤーが意外と同じメンバーということもあり、昨年度からは交流会として、見本市を兼ねて交流に重きを置いた開催に変えている。また、福岡市でフードエキスポという食の見本市が開催されており、そこへの出展補助制度を設け、商談のフォローをしている。結果、実績値が16件と減っている。

●「美術鑑賞事業に参加した学校数」

平成30年度は、久留米市で新たに購入した中型バスを活用して、圏域市町の中学生を久留米市美術館に送迎して鑑賞していただくという計画だったが、実施に至らず17校のままとなった。

○「地域おこし協力隊の連携事業」についてお尋ねしたい。昨年総務省が地域おこし協力隊の拡充に

ついで言及され、2025年に8,000人という数字が出されているが、今までに久留米圏域に入られた地域おこし協力隊の方々のその後の定住状況など、この実績からは見えてこない。フェードアウトされていたり、関東圏に戻られたり、地域とのミスマッチが実際起きている隊員の方もおられると思う。意見交換が行われているが、どのような意見が出てきたのか。可能なら資料をいただきたい。

- 地域おこし協力隊について、この圏域での定住率を見ると全国平均、県内平均より高く、83%の方々が活動後も定住いただいている。これはそれぞれの市町が任期中にしっかりフォローできている結果と思っている。活動内容等について意見交換をし、その中で人の繋がりが生まれ、隊員同士で活動を手伝うという事例も出てきている。活動内容、定住状況等については、改めて報告資料を整理したい。

(3) 令和元年度事業進捗状況及び令和2年度事業計画(案)について

〔令和元年度事業進捗状況及び令和2年度事業計画(案)について説明〕

- 創業支援事業について大きく予算が増えているが、来年度特に何か大きく変わる場所があるのか。
- 久留米市は学生が多く、学生向けの創業者支援を実施し、一万人いる学生に創業にトライしていただくよう増額したものである。
- JR路線でSuica等が使えない駅が結構あると伺っているが、観光誘致を考えるなら、ぜひ圏域内ぐらいは整備できないものか。
- 久大本線のICカード化は、筑後草野駅から大分方面は対応できていない。お客様や沿線自治体から要望もいただいております、整備した方が便利なのは間違いないが、JRでは国鉄からの流れで料金精算システム等は全国共通で作っており、九州だけでシステムを作ることはできない。区切られた区間内ならともかく、全国に対応するシステムとなると一駅数千万円単位となる。投資額は大きいが入増には繋がらないため、利用者が少ないところに広げるのは会社としては難しい。ただ、宮崎県で行政支援により実現した事例はある。
- 行政的な動きとしては、平成4年からうきは市と久留米市で久大本線活性化促進協議会を設置し、年に一回程度、沿線住民の利用促進と活性化のため、JR九州に要望を継続して行っている。
- 広域連携の取組みなどの情報をまとめて見られるところがあると良い。内外ともに情報発信と情報収集ができる場、それがHPやSNSであって、一つの方法だと思う。
- 美術鑑賞事業について、今年12月に大刀洗中学校の生徒さんが市のバスで鑑賞に来られる。受入れ体制等協力していきたい。石橋正二郎記念館もオープン後3年を経過したところで、ブリヂストン創業者石橋正二郎氏のことも伝えていきたい。また、石橋文化センターとしては観光的な視点も重要であり協力していきたい。
- 西鉄路線バス北野線の大刀洗町乗り入れについて補足する。今年10月から今村天主堂とゆめマートの2か所にバス停を作って乗り入れしている。その際、大刀洗町、久留米市にはご支援をいただき、この場を借りてお礼申し上げます。ただ、10月1カ月間の利用者数は379人と少ないので、引き続きPRして利用促進に繋げていきたい。
- 筑後地域から東京に情報発信をして、果たして東京の方が福岡県を通り越して見ていただけるのか。そのためには何かフックになる材料が必要だ。情報発信は、関東圏、大都市圏だけでいいのか疑問に思っている。まずは福岡県内でもっと筑後エリアに目を向けていただく、そんな視点があっていいと思う。移住促進については、子育て世代の現実的な移住先の候補になるような施策を打ち出してほしい。
- 2040 グランドデザインについて大学で議論しているが、その時地域社会はどうか、人口はどう

なるのかという中で、広域連携をやっていかないと難しい社会が生まれてくる。多様な社会づくりになると思うが、その中で外国人労働者をどう受け入れるのか、広域連携でも考えておく必要がある。広域連携がなぜ必要なのか理解しておく必要がある。もうひとつ、事業を部門ごとに実施されているが、本当は連携型プラットフォーム形成がないといけないと思う。例えば MICE 誘致とシティブラザのにぎわい創造事業、そこに産業振興アピールを加味するなどの横の連携がないと、バラバラなものになってしまう気がする。

○広域観光キャンペーン事業について、今年度事業の手応えを教えてください。また、私ども筑後田園都市推進評議会の方でも観光振興事業を進めており、エリアは少し違いますが、ぜひ協議・調整をさせていただきたい。

●お尋ねの広域観光キャンペーン事業は、筑後地域全体をエリアとし観光客誘致を目指すもので、現在、ルート作りとマップ作りを進めている。結果としてモニターツアーができればと考えている。当圏域を含む筑後地域全体が一緒になって、観光客を呼び込んでいきたい。

○地元企業採用支援事業の予算が若干だが減っている。具体的な中身を教えてください。

●地元企業採用支援としての合同会社説明会の内容には大きな変更はなく、予算減は効率化に伴うものである。

○福岡県では昨年度からサイクルツーリズムを進めており、昨年度はルート作りを実施し HP で情報発信している。今年度からは受入環境の整備を進めており、サイクルスタンド整備とサイクルステーション登録制度を推進している。独自にサイクルスタンド等の環境整備をされているところは、ぜひサイクルステーションに登録いただいて情報発信していきたいと考えている。

○ビジョンの目標人口 46 万人を達成するには、地元企業の活性化もさることながら、外から企業を誘致することが有効だと思う。ちょうど再来年、資生堂が進出して活性化していくと思うが、企業誘致事業予算を見ると残念な感じを受ける。比べて新産業団地事業は大きな予算がついている。どちらかという企業誘致の方に力を入れた方が良くと思う。企業誘致に向けてどんな施策を進めているのか。

●大都市圏での展示会に圏域で共同出展している。今年度は企業立地フェア 2019 に出展した。公的産業団地の有無や補助制度の違いなど連携上の課題もあるが、今後も連携して PR を実施していく。

○ベンチャー企業支援についてどのように考えているのかお聞きしたい。

●ハイテクスタートアップについては波及効果が非常に大きいということで、私どもはバイオ関係のスタートアップを重点的に支援している。最近の技術革新はめざましいものがあり、それに対応した環境整備を考えて予算が増加している。

○小分科会の意見が来年度に具体的にどう生かされているのか。具体的に掘り下げた取組みを見出しているのか。もうひとつは、情報の集約と発信をどうするかということだが、他者とどう繋いでいくかが重要で、データも形式を他者に合わせられるものにしていけば広がっていくと思う。

●小分科会において多くのご意見をいただいた。ご意見・ご提案については、取り入れられるものについては順次取り入れ、また次期ビジョンの中で取り入れていきたいと考えている。現時点では、令和 2 年度事業に反映しているかという、正直なところ具体的には示すことはできない。ご意見についてはしっかり頭に入れてるので、意識しながら取り組んでいく。

○本日の資料では、交通関係は評価 A となっているが、私どもは非常な危機感を持っている。人口減少が避けられない中で、公共交通は経営が厳しくなる。今でも九州全体で新幹線と福岡都市圏を除くとすべての路線が赤字で、お客様が減っているのが現状だ。鉄道はラインであり、拠点となる駅

周辺に人が集まるようなまちづくり、公共交通が便利なまちづくりに、今後も一緒に取り組ませていただきたい。

- アンテナショップについて、完全に閉店なのか。知名度や家賃の問題等、あるのかもしれないが、別の形を考えているのかお聞きしたい。
- アンテナショップについては、今年の7月31日をもって閉館した。9月末で賃貸借契約等も終了し、事業自体が終了した。新たにアンテナショップ開設は考えていない。しかしながら、情報発信していくことは重要であり、アンテナショップに代わる手段を検討しているが、現時点では紹介できるものはない。
- 美術鑑賞事業について、対象が中学生だが受験もあり厳しいのではないか。なぜ小学生は対象にしているのか疑問である。子どもの頭が柔らかいうちに美術鑑賞させてあげられたら良いと思う。ぜひ対象を広げてほしい。
- 現状では中学一年生を対象に展開してきたが、小学生を否定するものではない。今後検討したい。
- 観光に携わるものとしてお聞きしたいが、観光情報発信において、様々な手段があるが、具体的にはどのような媒体、方法が効果があると考えているのか。
- 広域観光についてはいくつかの枠組みで取り組んでおり、そのひとつに筑後地区観光協議会がある。そこで、ある企業のツールを使って SNS で広域的に情報発信を行っている。市町を通じて情報をいただければこのルートに乗せて広域的に情報発信できるので、ぜひ活用していただきたい。
- シティプラザでの学会開催時、偶然だが六角堂でお菓子のイベントが開催されており、学会参加者がお土産にお菓子を購入され売上増に繋がったケースがあった。MICE の経済効果、圏域の PR のためにも、このようなイベントを MICE の開催時期に合わせることは、効果があると思うので検討をお願いします。私どもの協会では、2月に観光ビジネスマッチングというイベントを実施するが、国内、インバウンド関係の旅行業者 20 社ほどが参加される。ビジネスに繋がったケースも多く出ており、ご案内状を送らせていただくので、ぜひ圏域の事業者の皆様にご紹介をお願いします。
- 事業成果を自己評価されているが、×の理由を十分に分析していただきたい。分析に基づいて効率的に事業展開するためには、どうアクションしていくかが重要であり、横連携することにより効率的になる事業もあると思うので検討をお願いします。また、事業展開には戦略性が必要であり、事業計画をブレイクダウンしてアクションプランがあると、事業の理解が進み、効率も上がっていく。ぜひともアクションプランの策定を検討していただきたい。
- 「物産展の共同開催事業」を主催しており、例年は大阪と福岡で実施していたが、今年は大阪を止めて出展方式に変え、8本ほど出展する計画である。また、インバウンド向けにアクションの必要性を近頃感じている。そこで観光入込客数の内訳や近々の海外情勢を教えてください。
- 久留米市には、韓国、台湾、中国、香港からの入込客が多い。今回の韓国の影響は大きいわけではない。今後、東南アジア、欧米等に情報発信し、こちらに来ていただければと考えている。
- アンテナショップは令和2年度まで継続すると聞いていたので、突然の閉店は残念だ。商工振興の視点からも、筑後の良いものを PR していくことは必要であり、ぜひ広域連携事業として福岡等での PR 活動を次期計画に上げていただきたい。
- 「地域おこし協力隊の連携事業」が自分としては職務からも興味深かった。実は隣の自治体の協力隊が何をしているのか、把握できていない。お互いに学びあう機会があっても良いと思うし、交流が持てたら良いと思う。
- 協力隊の情報交換会については、今年度、東京で予定している移住関係の PR 事業を連携して実施す

るに当たり、その打合せも兼ねて11月初めに開催した。圏域の協力隊の横の連携、情報共有等を通じて、お互いの活動協力の事例も出てきている。継続してそのような場を設けていきたい。

- 「新規就農支援事業」について、福岡県で農業をしたいという人がおられるが、福岡県まではよいが、各市町というと分かりにくいので、久留米のネームバリューを活かし一括で受付等やっていたら、とりこぼしもなくなり、効果得られると思う。事業進捗を見ると、どちらかというすでに農業をされている方向けの研修会が多い。新たに入ってくる方を移住定住に繋げることが、より大切と思う。
- 新規就農者を一括で受け付けたらということだが、各市町において補助内容や支援内容が異なり、農地を久留米市と市外に持っている方もおられる場合には、臨機応変に対応し、広域的な対応ができたかと考えている。
- 大道芸もコミュニティアートのひとつと思っている。鑑賞するだけで終わってしまう形になっているのがもったいないと感じる。地元にはいかに根付かせていくか。次代を担う子供たちが未来のストリートアーティストに育っていく形にもできる取組みだと思うが、そこまでにはなっていない。アートを見る、聞く、鑑賞する喜びだけでなく、支える側にまわるとか、いずれは表現の担い手になっていけるような筋道を、イベントの中に盛り込んでいけば、もう少し意義が高まると感じている。

(4) 次期ビジョン計画策定について

(5) その他

〔次期ビジョン計画策定について及びその他「ICT推進研究会設置」について一括説明〕
質疑なし

3. 閉会

- 本日、いただいた意見については、今後の事業の参考とさせていただく。これで本日の懇談会は終了する。